

情報科教育法 a No.5

2019/5/15 & 5/17

[1] 授業内容

- 前回の続き
- 授業設計と教材研究

[2] 教材研究

○教材研究とは

• 教育の目標を実現するために、教育活動の内容や展開、使用する教材・教員などについて検討すること。

- 実際の授業時間の数倍かかる（教師の受け持ち授業時数のこと）
- 研修のこと（教員公務員特例法第 21 条～22 条）

第 21 条 教育公務員は、その職責を遂行するために、絶えず研究と修養に努めなければならない。

第 22 条 教育公務員には、研修を受ける機会が与えられなければならない。

2 教員は、授業に支障のない限り、本属長の承認を受けて、勤務場所を離れて研修を行うことができる。

○教材・教具

• 教育の目標内容を効果的に学ばせ教えるために、子どもの生活概念と目標内容の媒介者として選ばれ、あるいはそのために加工された、言語的または非言語的素材である。

[中内敏夫「教材と教員の理論」『中内敏夫著作集！』藤原書店、1998]

○教材研究の手法

1) 授業のねらいと展開の構想

学習目標を定める（できるだけ具体的に）

目標実現のための授業展開を考える～生徒のことを考えながら

教材・教員の選定 理解を助けたり、深めたりするために必要なものは？

2) 教材・教員の選定

教材の収集

火曜の会「情報教育教材レシピ 100 線」：http://kayoo.org/recipe_fr.html

ギジュツ・ドット・コム：<http://www.gijyutu.com/>

工楽研究所<機械研究室>：<http://kojison.web.fc2.com/>

コンピュータサイエンスアンプラグド：<https://csunplugged.jp>

個人の成果を活用する → 使用するには工夫・変更が必要 → 自分の教材に

3) 教材・教員を使った授業展開の検討

良い教材も展開のしかたで生徒の受け止めは変わる

効果的な活用を考えよう

教材を使うと時間がかかる → 教育内容の精選が不可欠

[3] 演習

- 情報機器を扱わない教材の活用した演習

[4] 課題

- 1) 改訂された情報Ⅰ，情報Ⅱにおいて，アンプラグド教育がどの程度実施できるか考え，その理由についても答えよ。
- 2) Wikipedia や Google 検索によって得られた情報が，適切であるか否かを検証したい。どのようにすればよいか考えよ。
- 3) 前回の課題 1) の評価及びコメントをしなさい。

提出：sho-ooi@fc.ritsumei.ac.jp

メールの件名「05 情報科教育法 a_学番-名前」

or

HP のフォームより入力

締め切り：工学部：5/20、情報科学部：5/21